

香川労働局発表
令和3年4月28日

担 当	香川労働局労働基準部
	健康安全課長 松尾 武司
	安全専門官 一柳 昌仁
	電話(087)811-8920(直通)
	夜間(087)811-8926(呼出)
https://jsite.mhlw.go.jp/kagawa-roudoukyoku/	

労働災害が増加！死亡労働災害は倍増！

～ 令和2年の労働災害発生状況を公表（4/7確定）～

香川労働局（局長 ^{まつせ たかひろ} 松瀬 貴裕）は、県下の労働災害による令和2年の死傷者数（休業4日以上）を取りまとめたので公表します。

【 死傷労働災害（休業4日以上）の概要と特徴 】

死傷者数(休業4日以上)は、1,253人(対前年比+20人、同率+1.6%)と増加。死傷者数のうち、新型コロナウイルス感染症によるものは40人。

業種別の発生件数(対前年比、同率)は、製造業 319人(-33人、-9.4%)、商業 191人(-4人、-2.1%)、保健衛生業 176人(+72人、+69.2%)、運輸交通業 156人(-1人、-0.6%)、建設業 107人(-30人、-21.9%)の順で多く発生。

建設業、製造業は、対前年比で大きく減少したものの、医療機関や介護施設等が含まれる保健衛生業は大きく増加している。

事故の型別では、「転倒(23.8%)」、「墜落・転落(16.9%)」、「はさまれ・巻き込まれ(13.8%)」、「動作の反動、無理な動作(9.8%)」が依然として多く、これら4つで全体の64.3%を占めている。

年齢別では、50歳以上の割合が49.9%になるとともに、経験期間別では、3年未満の未熟練労働者の割合が37.2%となっている。

○ 災害の程度別では、3年未満のものが87.1%を占めている。

【 死亡労働災害の概要と特徴 】

死亡者数は12人と、前年の6人に比べ倍増。

業種別では、製造業で5人、建設業、商業及びその他の事業でそれぞれ2人、接客娯楽業で1人となっている。

○ 事故の型別では、「墜落・転落」が5人、「交通事故」が4人、「有害物等との接触」が2人、「はさまれ・巻き込まれ」が1人となっている。

年齢別では、50歳以上の割合が50%となっている。

以上の状況を踏まえ、香川労働局では、県下5つの労働基準監督署とともに、死亡労働災害の撲滅を最重点項目の1つに掲げて取り組んでいる。

添付資料

「令和2年 労働災害の発生状況について（労働者死傷病報告より）」

図1 - 労働災害による死傷者数の推移（香川県）（昭和48年より）

図1 - 労働災害による死傷者数の推移（香川県）（平成15年より）

表-1 令和2年 業種別労働災害発生状況

図2 令和2年 死傷労働災害発生状況

（業種別、事故の型別、起因物別、年齢別、経験期間別、事業場規模別、
災害の程度別、月別）

表-2 令和2年 死亡労働災害一覧表

図3 令和2年 死亡労働災害発生状況

令和2年 労働災害の発生状況について（労働者死傷病報告より）

1 死傷労働災害の発生状況（図1 - ・、表-1、図2）

- (1) 死傷者数(休業4日以上)は1,253人で、前年の1,233人に比べ20人(+1.6%)増加となっている。また、死傷者数のうち、新型コロナウイルス感染症によるものは40人となっている。
業種別では、製造業が最も多く319人(25.5%)、次いで商業191人(15.2%)、保健衛生業176人(14.0%)、運輸交通業156人(12.5%)、建設業107人(8.5%)の順(100人以上のみ)となっている。一方、建設業-30人(-21.9%)、製造業-33人(-9.4%)、商業-4人(-2.1%)、運輸交通業-1人(-0.6%)と減少しているが、保健衛生業は+72人(+69.2%)と大きく増加している。
- (2) 「事故の型別」では、「転倒」(298人、23.8%)、「墜落・転落」(212人、16.9%)、「はさまれ・巻き込まれ」(173人、13.8%)、「動作の反動、無理な動作」(123人、9.8%)の順に多く、前年と同順位で、これら4つで全体の64.3%(806人/1,253人)を占めている。
- (3) 「転倒」(298人)については、製造業(58人)と第三次産業(商業(47人)、保健衛生業(62人)、接客娯楽業(22人))で、転倒災害全体の63.4%(189人/298人)を占めている。発生率の高い業種は、保健衛生業35.2%(62人/176人)、商業24.6%(47人/191人)、接客娯楽業32.8%(22人/67人)であり、第三次産業で多発している。
- (4) 「墜落・転落」(212人)については、製造業(46人)、建設業(28人)、運輸交通業(48人)、商業(33人)で、墜落・転落災害全体の73.1%(155人/212人)を占めている。発生率の高い業種は、運輸交通業30.8%(48人/156人)、商業17.3%(33人/191人)である。
- (5) 「はさまれ・巻き込まれ」(173人)については、製造業で多く発生し、はさまれ・巻き込まれ災害全体の46.8%(81人/173人)を占めている。
- (6) 「動作の反動、無理な動作」(123人)は、保健衛生業で多く発生し、動作の反動、無理な動作の災害全体の35.8%(44人/123人)を占めている。
- (7) 年齢別では、60歳以上の者が占める割合(27.3%(342人/1,253人))が最も多く、50歳以上の者が占める割合が49.9%となっている。

(8) 経験期間別では、1年以上3年未満の占める割合（18.8%（236人/1,253人））が最も多く、経験期間3年未満の未熟練労働者が占める割合は37.3%（467人/1,253人）となっている。

また、60歳以上の者のうち、経験期間が3年未満の未熟練労働者が占める割合は27.2%（93人/342人）となっている。

(9) 事業場の規模別では、30人未満の事業場で、46.4%（581人/1,253人）の労働災害が発生している。また、100人以上の事業場では、22.1%（277人/1,253人）となっている。

(10) 災害の程度別では、1月以上3月未満の占める割合（43.0%（539人/1,253人））が最も多く、3月未満のものが87.2%（1,092人/1,253人）となっている。

2 死亡労働災害の発生状況（図1 - ・、表-1・2、図3）

(1) 死亡者数は12人と、前年の6人に比べ倍増。

(2) 業種別では、製造業で5人、建設業、商業及びその他の事業で各2人、接客娯楽業で1人となっている。

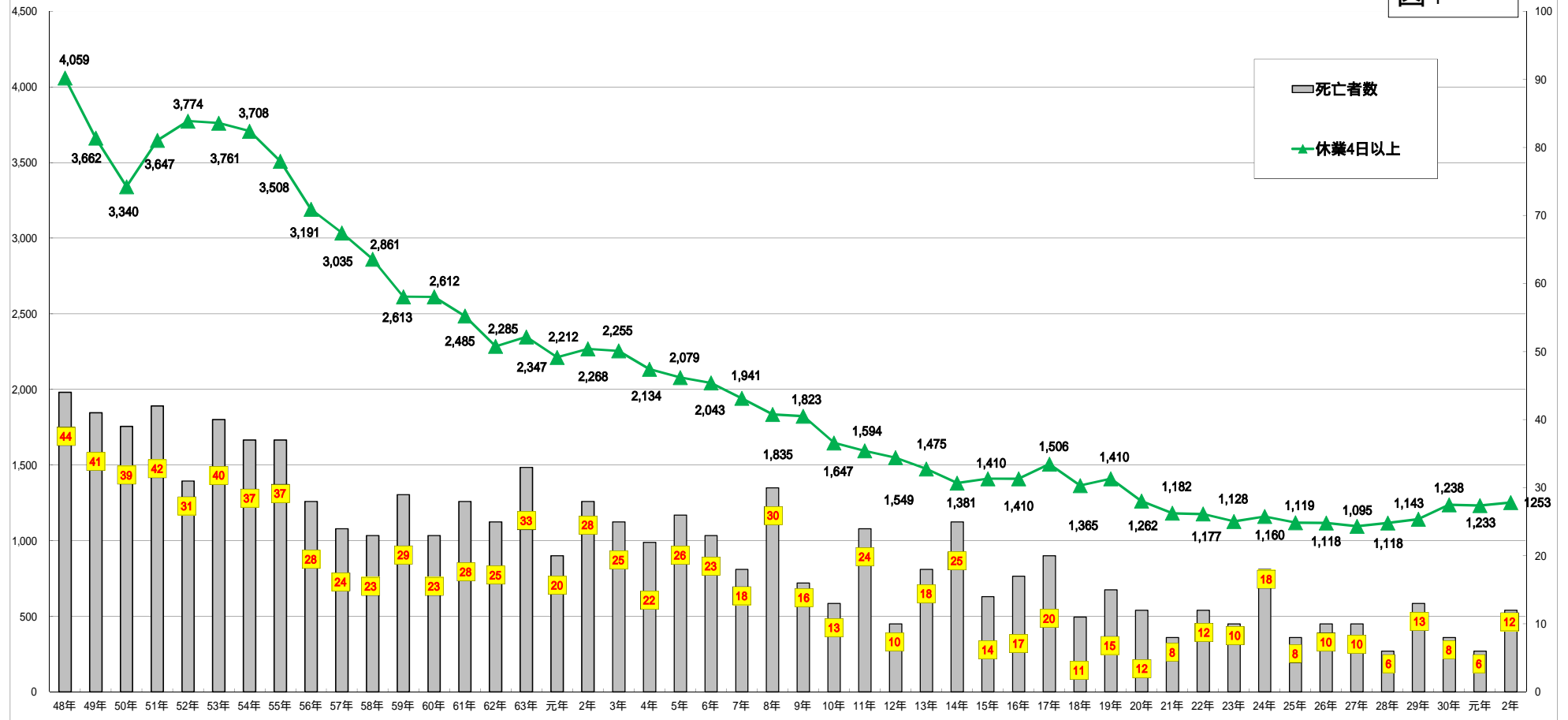
(3) 事故の型別では、「墜落・転落」が5人で最も多く、「交通事故」が4人、「有害物等との接触」が2人、「はさまれ・巻き込まれ」が1人となっている。

(4) 年齢別では、60歳代が5人、30歳代が4人、20歳代、40歳代及び50歳代が各1人で、50歳以上の割合が50%となっている。

(5) 事業場の規模別では、すべてが50人未満の事業場で発生している。

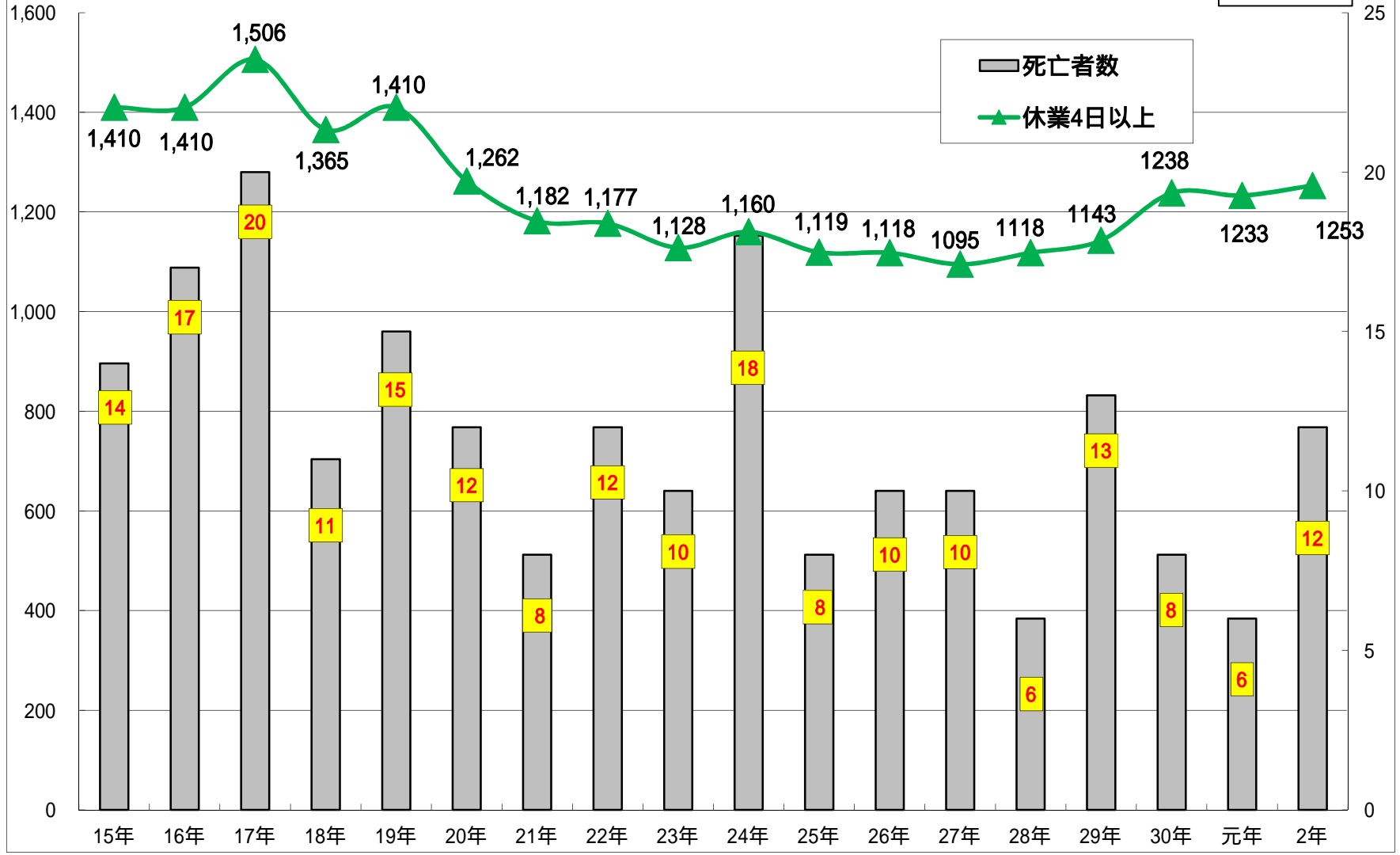
労働災害による死傷者数の推移(香川県)

図 1 -



労働災害による死傷者数の推移(香川県)

図 1 -



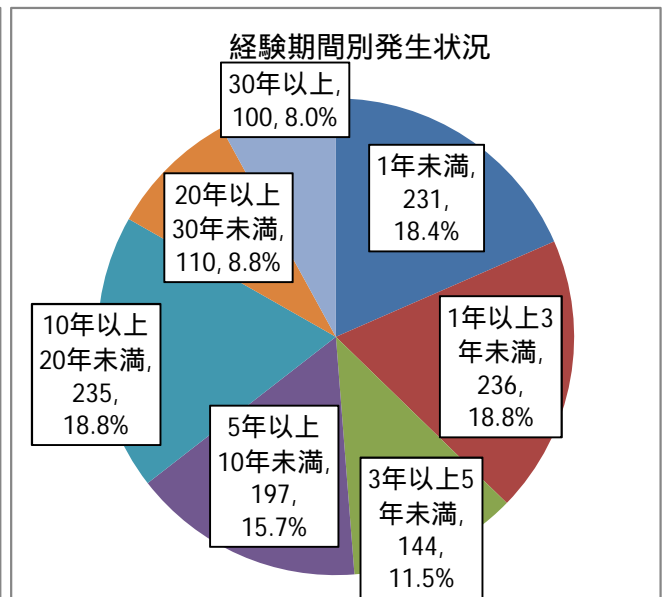
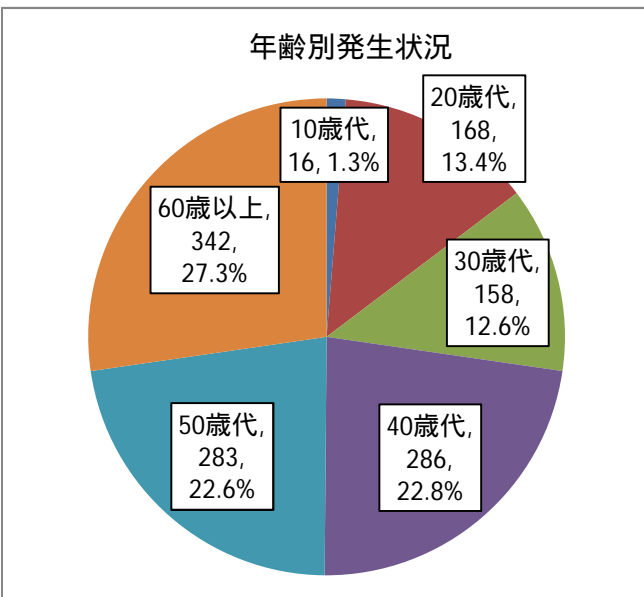
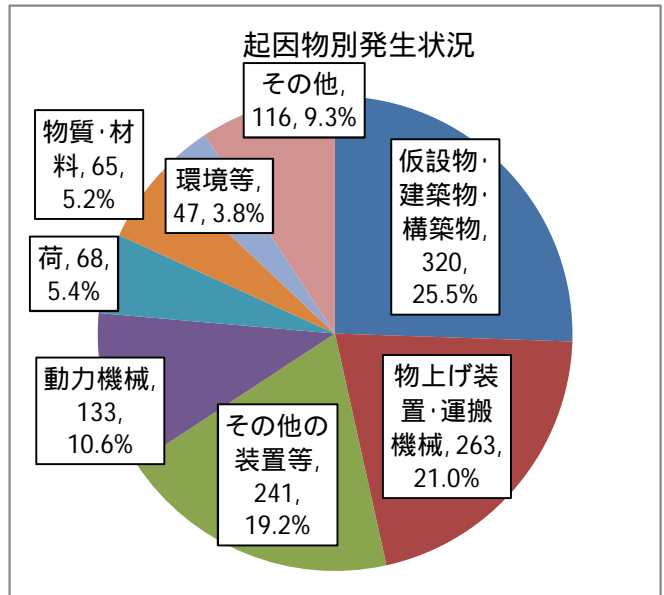
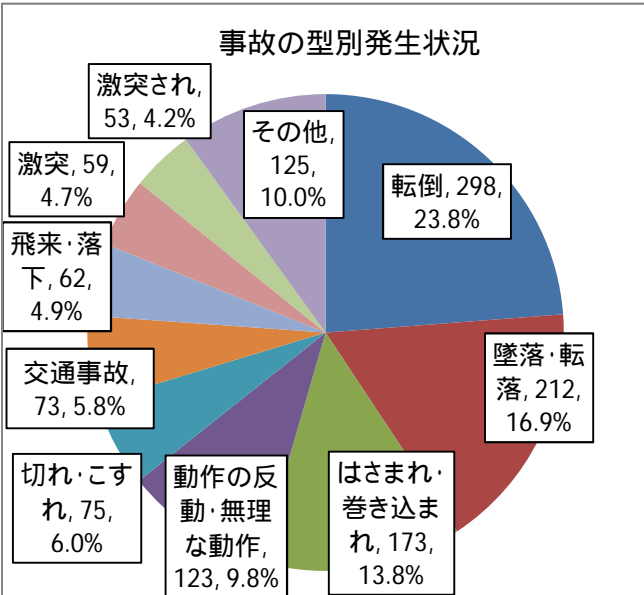
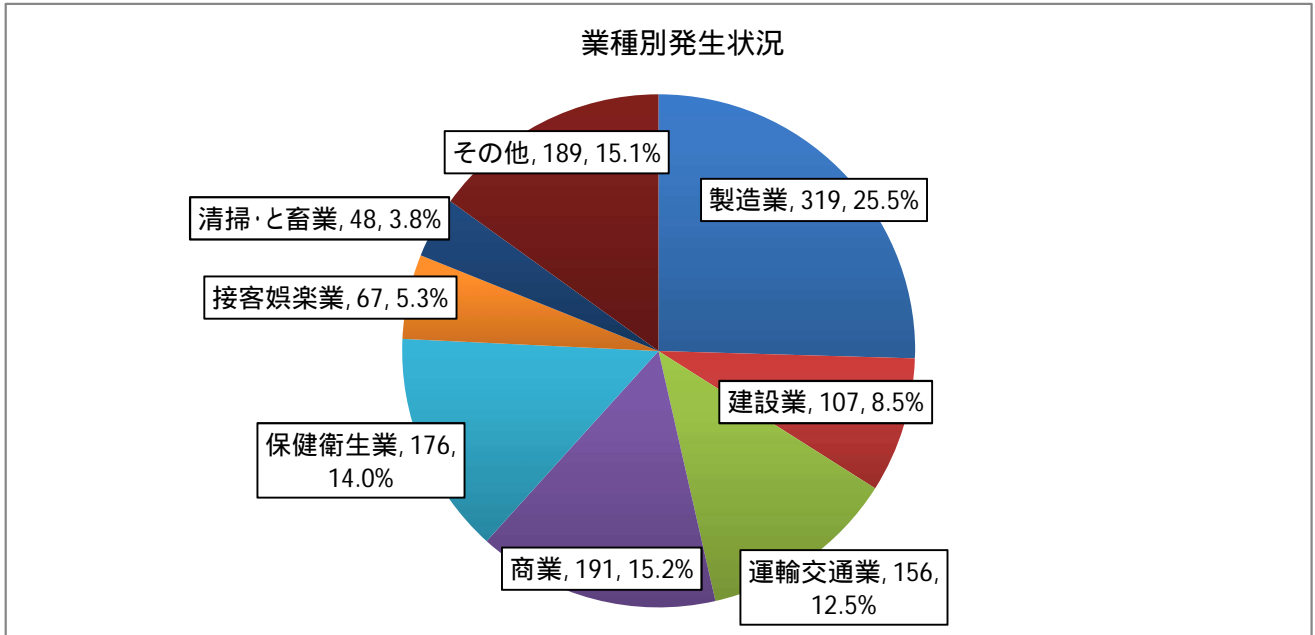
令和 2 年 業 種 別 労 働 災 害 発 生 状 況

(労働者死傷病報告による休業 4 日以上の災害 () 内数字は死亡で内数)

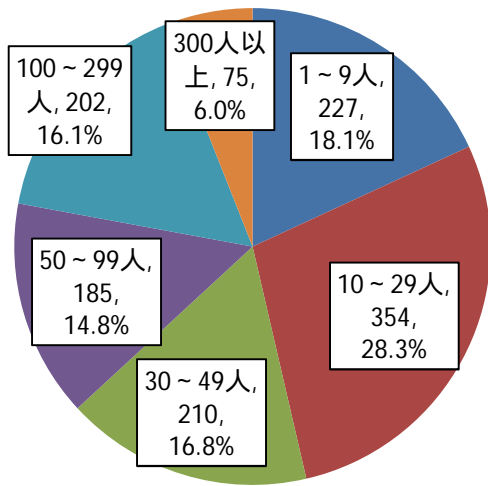
香 川 労 働 局
確 定

業 種	香 川 局			過 去 3 年 間 の 状 況							
	局・署	令和 2 年	前年同期	増減	平成 2 9 年	平成 3 0 年	令和元年				
01 食料品製造	(0)	87	(1)	105	-18	(0)	98	(0)	106	(1)	105
02 繊維工業	(0)	3	(0)	2	1	(0)	1	(0)	4	(0)	2
03 衣服その他の繊維	(0)	5	(0)	6	-1	(0)	4	(0)	1	(0)	6
04 木材・木製品	(0)	7	(0)	11	-4	(0)	8	(0)	13	(0)	11
05 家具・装備品	(0)	2	(0)	5	-3	(0)	4	(0)	6	(0)	5
06 パルプ等	(0)	18	(0)	16	2	(1)	19	(0)	14	(0)	16
07 印刷・製本	(1)	9	(0)	6	3	(1)	10	(0)	9	(0)	6
08 化学工業	(0)	23	(0)	26	-3	(0)	21	(0)	38	(0)	26
09 窯業土石	(1)	25	(0)	12	13	(0)	20	(0)	17	(0)	12
10 鉄鋼業	(0)	4	(0)	6	-2	(0)	5	(0)	0	(0)	6
11 非鉄金属	(0)	2	(0)	0	2	(0)	0	(0)	3	(0)	0
12 金属製品	(0)	59	(0)	75	-16	(0)	56	(0)	63	(0)	75
13 一般機械器具	(0)	17	(0)	26	-9	(0)	21	(0)	36	(0)	26
14 電気機械器具	(0)	6	(0)	6	0	(0)	5	(0)	7	(0)	6
01 造船業	(3)	29	(0)	24	5	(0)	17	(0)	18	(0)	24
15 輸送機械製造	(3)	29	(0)	27	2	(0)	18	(0)	26	(0)	27
16 電気・ガス	(0)	1	(0)	2	-1	(0)	3	(0)	1	(0)	2
17 その他の製造	(0)	22	(0)	21	1	(0)	23	(0)	24	(0)	21
01 製造業	(5)	319	(1)	352	-33	(2)	316	(0)	368	(1)	352
02 鉱業	(0)	3	(0)	4	-1	(0)	4	(0)	3	(0)	4
01 土木工事	(1)	42	(0)	36	6	(1)	36	(2)	37	(0)	36
02 木造家屋建築	(0)	8	(0)	22	-14	(0)	13	(0)	26	(0)	22
02 建築工事	(1)	48	(0)	81	-33	(1)	72	(0)	96	(0)	81
03 その他の建設	(0)	17	(0)	20	-3	(1)	31	(0)	21	(0)	20
03 建設業	(2)	107	(0)	137	-30	(3)	139	(2)	154	(0)	137
03 道路貨物運送	(0)	146	(3)	144	2	(3)	147	(3)	149	(3)	144
04 運輸交通業	(0)	156	(3)	157	-1	(4)	161	(3)	161	(3)	157
01 陸上貨物	(0)	8	(0)	13	-5	(0)	13	(0)	7	(0)	13
02 港湾運送業	(0)	7	(0)	12	-5	(0)	9	(0)	9	(0)	12
05 貨物取扱	(0)	15	(0)	25	-10	(0)	22	(0)	16	(0)	25
02 林業	(0)	9	(0)	11	-2	(0)	7	(0)	13	(0)	11
06 農林業	(0)	27	(0)	21	6	(0)	20	(0)	27	(0)	21
07 畜産・水産業	(0)	17	(0)	5	12	(0)	15	(0)	16	(0)	5
02 小売業	(1)	140	(1)	148	-8	(2)	142	(1)	132	(1)	148
08 商業	(2)	191	(2)	195	-4	(2)	187	(1)	169	(2)	195
11 通信業	(0)	21	(0)	19	2	(0)	14	(0)	26	(0)	19
02 社会福祉施設	(0)	98	(0)	71	27	(0)	54	(0)	67	(0)	71
13 保健衛生業	(0)	176	(0)	104	72	(0)	85	(0)	99	(0)	104
02 飲食店	(1)	41	(0)	44	-3	(0)	37	(0)	32	(0)	44
14 接客娯楽	(1)	67	(0)	78	-11	(0)	68	(1)	62	(0)	78
15 清掃・と畜	(0)	48	(0)	56	-8	(0)	40	(0)	52	(0)	56
その他の事業	(2)	106	(0)	80	26	(2)	54	(1)	85	(0)	80
全 産 業	(12)	1253	(6)	1233	20	(13)	1143	(8)	1238	(6)	1233
				確 定 値							

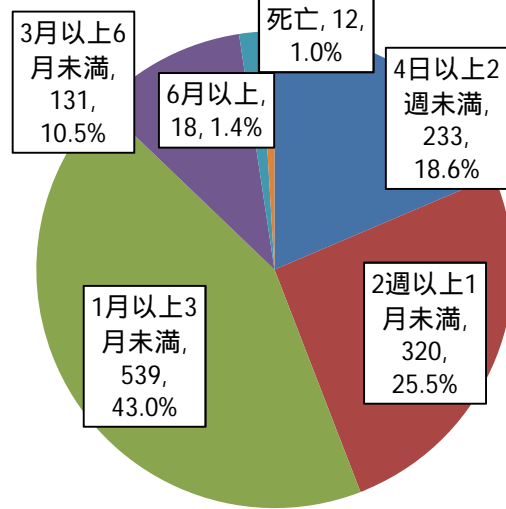
令和2年 死傷労働災害発生状況



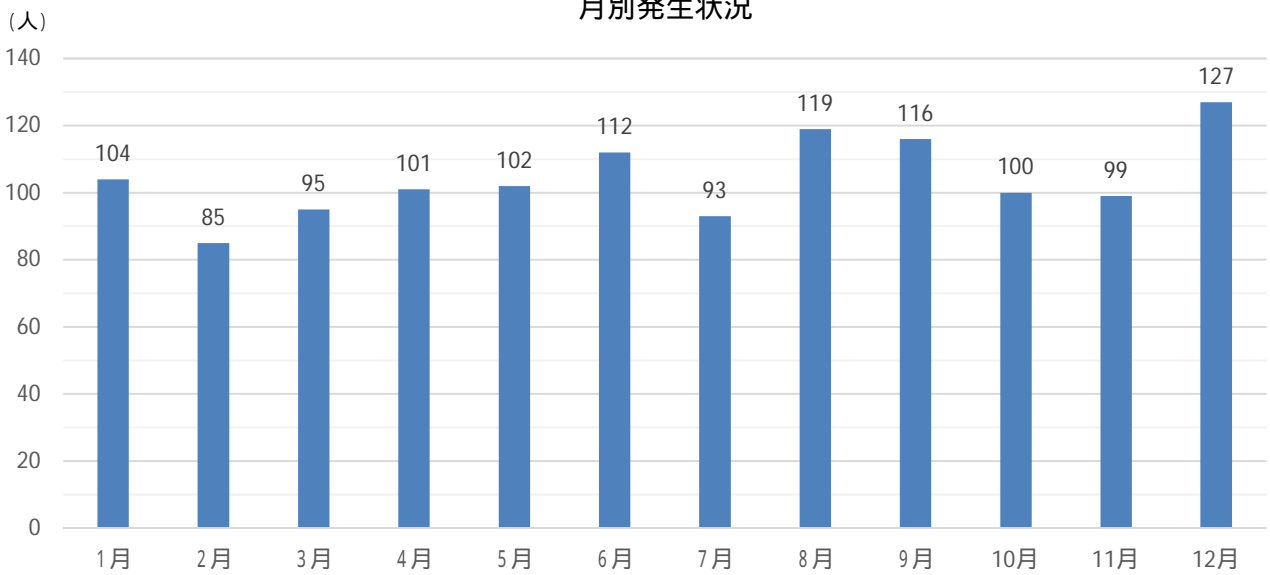
事業場規模別発生状況



災害の程度別発生状況



月別発生状況



令和2年 死亡労働災害一覧表

香 川 労 働 局
確 定

番号	死亡者数累計	業種	発生日	発生日時間帯	事故の型 年 齢	発 生 状 況
1	1	その他の事業 (その他の事業)	1月	17時台	墜落・転落 60歳代	フォークリフトのフォークにパレットを差し込み、高さ約3メートルまでリフトし、そのパレットに梯子を立て掛けた状態のすぐ近くの地面で倒れている被災者が発見されたもの。
2	2	窯業・土石 製品製造業 (製造業)	1月	9時台	墜落・転落 60歳代	工場において、生コンを建設現場に搬入するために生コン車を停車させ下車した後、生コン車後部の地面で倒れている被災者が発見されたもの。
3	3	新聞販売業 (商業)	1月	4時台	交通事故 (道路) 60歳代	道路から約3メートル下の田んぼで、バイクとともに倒れている被災者が発見されたもの。
4	4	造船業 (製造業)	2月	15時台	墜落・転落 30歳代	吊り足場の作業床に被災者が乗った状態のまま、足場を吊っている部材の固定ボルト等を緩めたところ、当該足場が45度傾き、地上約15メートルの高さから地面に墜落したもの。
5	5	造船業 (製造業)	3月	15時台	有害物等 との接触 30歳代	船底のタンク内の清掃作業に従事していた被災者2名が、翌日の朝、タンク内に倒れているところを発見されたもの。
	6	造船業 (製造業)	3月	15時台	有害物等 との接触 40歳代	船底のタンク内の清掃作業に従事していた被災者2名が、翌日の朝、タンク内に倒れているところを発見されたもの。
6	7	建築工事業 (建設業)	7月	8時台	墜落・転落 20歳代	建築物の解体作業現場において、足場を解体中、被災者は同足場の7層目の作業床で作業をしていたところ、同作業床から約12m下の地上に墜落したもの。
7	8	土木工事業 (建設業)	8月	16時台	交通事故 (道路) 60歳代	工事終了後、工事看板を撤去するため、道路の反対側に軽トラックを止め、被災者は道路を渡ろうと路肩で車が途切れるのを待っていたところ、走行中のワゴン車に激突されたもの。
8	9	印刷・製本業 (製造業)	9月	14時台	墜落・転落 50歳代	被災者は工場屋根補修のため、スレート屋根に上り作業を行っていたところ、被災者の足元のスレートが割れ、バランスを崩し、明り取りの箇所、高さ4.28mから地上まで墜落したもの。
9	10	卸売業 (商業)	9月	9時台	交通事故 (道路) 30歳代	高速道路の路肩に自動車を停車し、運転席から降りたところ、後続車にはねられたもの。
10	11	その他の事業 (その他の事業)	10月	10時台	はさまれ・巻 き込まれ 30歳代	被災者は、混合機内部でスクリーンの清掃をしていたところ、別の作業員が混合機のスクリーンを回転させ、被災者がスクリーンに巻き込まれたもの。
11	12	飲食店 (接客娯楽業)	12月	6時台	交通事故 (道路) 60歳代	被災者は、軽自動車を会社の駐車場にバックで停車しようとして誤って店舗の壁に衝突し、さらに前進して店舗向かい側にある民家の壁に衝突したもの。

令和2年 死亡労働災害発生状況

業種 \ 事故の型	墜落、転落	転倒	激突され	飛来、落下	崩壊、倒壊	巻き込まれ、はさまれ	有害物等との接触	高温・低温の接	交通事故	合計
製造業	3						2			5
鉱業										0
建設業	1								1	2
運輸交通業										0
商業									2	2
接客娯楽業									1	1
警備業										0
その他の事業	1					1				2
合計	5	0	0	0	0	1	2	0	4	12

